

高等学校 地理歴史科（日本史 B） 学習指導計画案

指導教員

- ・ 学校名 高等学校 実習生
- ・ 日時 2018年9月18日（火曜日）第4校時 場所 2年1組教室
- ・ 対象 2年1組（生徒数40名：男子12名、女子28名）
- ・ 単元名 第7章 幕藩体制の展開 1 幕政の安定 元禄時代
- ・ 単元の指導計画（配当時数および本時の位置づけ）

第7章 幕藩体制の展開

- 1 幕政の安定
 - ・ 平和と秩序の安定
 - ・ 元禄時代…本時
 - ・ 正徳の政治
- 2 経済の発展
- 3 文禄文化

・ 本時の主題名 1 幕政の安定（元禄時代）

・ 本時に使用する教材・教具 詳説日本史（山川出版社）、図説日本史通覧（帝国書院）、自作プリント

・ 本時の目標

- ・ 武家諸法度（天和令）の発布により、文治主義の方針が明確になったことを理解させる
- ・ 儒教や仏教を背景にした政治が展開され、戦国の風潮（価値観）の否定につながったことを理解させる。
- ・ 幕府の財政難の原因と、それに対してとられた政策がどのような結果を招いたかを理解させる。

<教材観・題材観>

5代目将軍綱吉が就任して代替わりの武家諸法度が発布された際に『文武弓馬の道』から『文武忠孝を励し、礼儀を正すべき事』に改められた。これは武士に主君・父祖に対する忠孝や礼儀による秩序を求めるものであった。これらより、今までの武断政治から文治政治（主義）への転換がすすめられたことを理解させる。

またこの綱吉の政治が庶民生活の混乱や財政難を招いたことも理解させる。

さらに経済面においては、荻原重秀による貨幣改鑄政策により一時的な収益はあげられたが、結果的に町人の生活を圧迫したことを理解させ、幕府の財政問題がのちの三大改革につながることにふれる。

<生徒観>

おとなしい生徒が多い印象であったが、1回目の授業では積極的に授業に参加してくれる生徒が多かったので、発問を投げかけて生徒の考えたことを発表してもらえるような授業づくりを心掛ける。

また自分自身が体験したエピソードから差別問題が自分たちの身近に感じられるような授業づくりに努める。

<指導観>

課題テストの結果で歴史用語の漢字が読めない生徒が見られたので、本時の授業では綱吉政治の元禄時代を学習する中で読みにくい人名や語句の漢字にルビをふりながら指導することを心掛ける。

・本時の指導過程

	指導内容	生徒の学習活動	留意点
導入 5分	・前回の授業の復習	江戸幕府の将軍を教科書 P170 の徳川氏略系図を参考に初代から5代目綱吉まで振り返る。 家綱が幕府政治の転換期になったことを復習する。	武断政治から文治政治への切り替わりを復習させるために“家綱は武力による政治からどんな政治に変えていこうとしましょう？”と発問する。
展開 40分	<p>〈元禄時代〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五代目将軍 徳川綱吉 →元禄時代 ・武家諸法度の（天和令）の発布 文治主義の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・儒教を重視 木下順庵、湯島聖堂 ・仏教にも帰依→生類憐みの令 ・神道の影響→服忌令 <p>〔財政難問題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荻原重秀の登用 ・貨幣改鋳 	<p>徳川綱吉と柳沢吉保の参考資料を見てどんな人だったのかと考える。</p> <p>教科書 P171（元和令）と P200（天和令）の最初の文言を比較して幕府の方針が武断政治から文治政治（文治主義）へと変わったことを理解する。またこれらの結果、武力から身分格式・礼儀の知識・役人としての事務能力が重視されるようになったことを理解する。</p> <p>生類憐みの令や服忌令により、死や血を忌み嫌う風潮が作りだされ、戦国時代以来の価値観が否定されたことを理解する。</p> <p>金銀の産出減（佐渡金山など）、明暦の大火後の復興費、寺社の造営費用などが原因により幕府が財政難になったことを理解させる。</p> <p>荻原重秀の貨幣改鋳はなぜうまくいかなかったのか考える。</p>	<p>プリントの配布 プリント記入の際に、補足事項を板書し、読みにくい言葉にルビをふる。</p> <p>綱吉が文治主義の考えから朝幕協調した関係を築いたことを理解させる。</p> <p>生類憐みの令に関するエピソードを紹介する。</p> <p>この当時の差別意識が、現在の差別問題に影響していることにふれ、実際に差別を受けた経験のある人の話を紹介する。</p> <p>資料集 P167 の原寸大の元禄小判を見て、どれくらいの大きさなのか確認させる。</p>
整理 5分	テスト形式を用いて要点を振り返る	口頭での問題に解答する。	<p>用紙の配布</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、5代目将軍の名前 2、この将軍が政治を行った時代を何時代と呼ぶか 3、5代目将軍が1685年に出した法令 4、貨幣改鋳を5代目将軍に上申した勘定吟味役は誰か

第7章 幕藩体制の展開

①幕政の安定 (元禄時代)

170 後半 5代目将軍 () → ()
補佐: 堀田正俊 (大老) → () (側用人)

1683年 武家諸法度の発布

『文武弓馬の道』から『文武忠孝を励し、礼儀を正すべき事』に変更

↓

主君に対する ()、父祖に対する ()、() による秩序を求める

↓

()

この考えから将軍は天皇に任命されていることから朝幕協調した関係に (禁裏御料の増加など)

- ・ () を重視
() に学び、() を () に任命
() を建てる
- ・ () にも帰依
() (1685~1709)
…極端な動物愛護令、生類すべての殺傷を禁止、犬公方
- ・ () の影響

1684年 () …父母親族が亡くなったときの忌引などの日数を定めた

↓

血や死を忌み嫌う (ひどく嫌がる) 風潮

↓

()

[財政難問題]

↳ 金銀の産出減 (佐渡金山など)、明暦の大火後の復興費、寺社の造営費用など

() (勘定吟味役 →) の登用

1695年 貨幣改鑄 () … 金銀の含有量を減らし、差益を収入に

↓

貨幣価値の下落

↓

() (インフレ)

↓

人々の生活を圧迫